



平成 29 年 2 月 7 日

各 位

会 社 名 ジオスター株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 栗山 実則
(コード番号 5282 東証第 2 部)
問 合 せ 先 執行役員
経営管理本部経理チームリーダー
古橋 義孝
(TEL 03-5844-1201)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 28 年 9 月 8 日に公表いたしました平成 29 年 3 月期の業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 29 年 3 月期通期業績予想数値の修正 (平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日)

連結通期業績予想数値の修正

(金額単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	30,100	2,000	2,000	1,300	41 円 55 銭
今回修正予想 (B)	31,400	2,710	2,710	1,860	59 円 45 銭
増減額 (B - A)	1,300	710	710	560	—
増減率 (%)	4.3	35.5	35.5	43.1	—
(ご参考) 前期実績 (平成 28 年 3 月期)	26,689	1,119	1,142	1,203	38 円 46 銭

2. 業績予想修正の理由

連結売上高は、当社セグメント製品・防潮堤製品及びその他土木製品の生産が順調に推移したことを主因に増加し、314 億円 (対前回予想 4.3%増) となる見通しです。

また、損益につきましては、売上増に伴う利益増に加え、当社金谷工場の設備改造工事・生産立上が順調であったこと、各工場の整流化対策・相互連携強化の実施により操業の最大化が図られていること、また、様々な原価低減施策の取り組みによりコストダウンが図られていることにより、売上総利益率が改善する見込みとなったことから、営業利益・経常利益は 27.1 億円 (対前回予想 35.5%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は 18.6 億円 (対前回予想 43.1%増) となる見通しです。

(注) 上記予想は、現時点において入手可能な情報に基づき判断したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上